2026年8月号

信頼を礎に、新しい政治を。

# Next ARAKAWA 自民党プレス

どんな事も私たちにお気軽に相談してください。

HP

荒川自民党LINE

自民党荒川区議会

自民党 Lib Dems Liberal Democratic Party of JAPAN


03-3802-4625

〒116-8501荒川区荒川二丁目2番3号 5階　自民党控室

## 決算特別委員会が始まります

9月24日から、荒川区議会では決算特別委員会が始まります。
決算特別委員会は、前年度に区が行った事業や施策について、予算が適切に使われたか、どのような成果があったのか、また今後改善すべき課題は何かを検証する大切な委員会です。限られた財源をより効果的に活用し、次年度以降の区政につなげていくため、各分野について行政と質疑を行います。「この制度をもっと使いやすくしてほしい」「区のこの事業について確認してほしい」「地域でこんなことに困っている」など、行政への質問やご要望がございましたら、ぜひお寄せください。皆さまからいただく声は、区政をより良くするための大切な材料です。一つひとつの声を受け止め、委員会での質疑や政策提案にしっかりと反映してまいります。

## あらかわ最新NEWS

### グリーンパール那須 区民の利用補助２年間延長

ホテルグリーンパール**那須の補助利用期間が2年間延長され、令和11年3月31日までご利用いただける**こととなりました！
補助対象は、荒川区内在住・在勤の方とその同居家族です。同行する区外在住の方も、補助対象外ですが優待料金で宿泊できます。
なお、令和9年4月以降の宿泊分から、補助対象範囲や補助適用条件等が一部変更となります。利用料金や詳しい条件については、区ホームページをご確認のうえ、ぜひご利用ください。

### 高額療養費制度が変わります

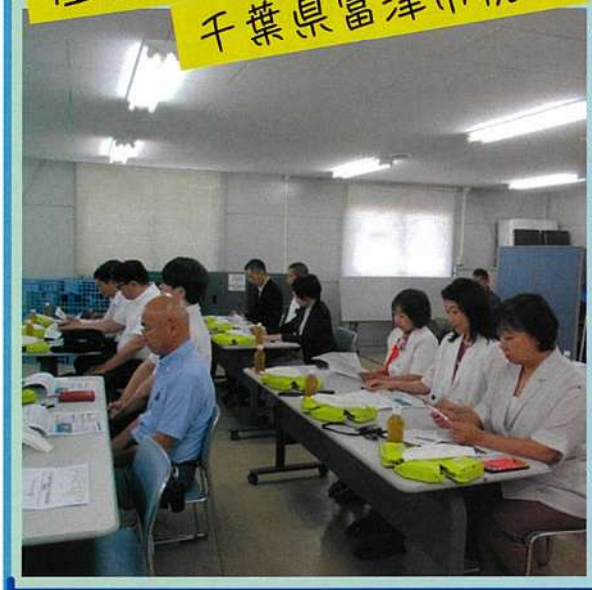
医療費の自己負担が一定額を超えた場合、超過分が支給される「高額療養費制度」が見直されます。令和8年8月から、所得区分に応じて月ごとの自己負担上限額が一部引き上げられました。一方、長期にわたり高額な医療を必要とする方への配慮として、年間の自己負担上限が新設され、「多数回該当」の上限額は原則据え置かれています。**さらに令和9年8月からは、所得区分をより細かく分けた上限額へ変更される予定です。**ご自身の所得や年齢によって上限額が異なります。対象となる金額や申請方法など、詳しくは厚生労働省ホームページをご確認ください。

# この夏の地域活動・視察報告

## 文教子育て委員会 下田臨海学園視察

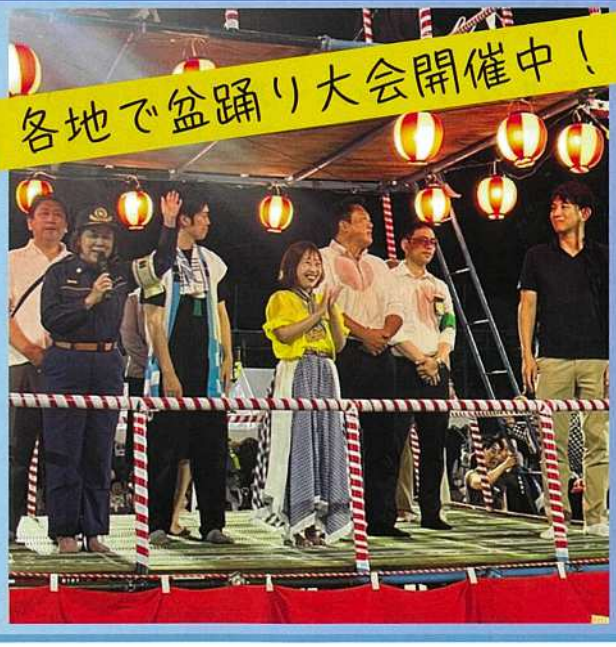
下田臨海学園を視察し、あわせて下田市議会へ表敬訪問を行いました。下田市議会では、荒川区の子どもたちがお世話になっていることへの感謝をお伝えするとともに、災害や有事の際にも子どもたちの安全確保についてご協力をお願いしました。また、廃校となった校舎跡地を活用して整備された下田市役所の新庁舎についてもお話を伺い、庁舎内を見学。既存施設・跡地の有効活用に加え、太陽光や地下水を利用した冷暖房設備など、環境に配慮した工夫も取り入れられていました。当日は台風の影響により海は遊泳禁止となっていましたが、子どもたちは海に入らず、安全を最優先に活動していました。近隣の公園で遊んだり、敷地内で水遊びをしたりするなど、海での活動に代わるプログラムも実施されており、状況に応じた柔軟な対応を確認することができました。

## 産業まちづくり委員会 千葉県富津市視察



千葉県富津市の「エム・エム・プラスチック株式会社」を視察しました。こちらでは、荒川区で回収されたプラスチックの再商品化も行われています。家庭などから回収されたプラスチックが工場に運ばれ、素材ごとに選別された後、洗浄・破砕・造粒などの工程を経て「再生ペレット」と呼ばれる原料へ。さらに、その再生原料を活用した物流用パレットなど、新たな製品へと生まれ変わる工程を実際に見学しました。同社は、首都圏から排出される約300万人分のプラスチック製容器包装等をリサイクルする全国有数規模の施設です。私たちが普段何気なく行っている「プラスチックの分別」が、その先でどのように資源として循環しているのかを直接見ることができました。ごみとして燃やすのではなく、もう一度「資源」として活用する。分別の大切さとともに、循環型社会の実現に向けた取り組みを改めて考える貴重な視察となりました。

## 戦後81年～平和への誓いを次の世代へ～

終戦から81年を迎えました。先の大戦で犠牲となられたすべての方々に、改めて心から哀悼の誠を捧げます。高市早苗総理は全国戦没者追悼式において、今日の我が国の平和と繁栄が、戦没者の尊い命と苦難の歴史の上に築かれていることを述べ、「私たちは決して忘れません」と語りました。世界では今なお戦争や紛争が続き、我が国を取り巻く安全保障環境も厳しさを増しています。過去の歴史から学び、二度と戦争の惨禍を繰り返さない。そして、国民の命と暮らしを守り、子どもたちが安心して未来を描ける日本を次の世代へ引き継ぐ。その決意を新たにする戦後81年としたいと思います。

## 各地で盆踊り大会開催中！